

認知症の予防から家族支援まで、ひとつの流れでつなぐ

2D メタバース型 認知症ケア&サポート・プラットフォーム

「ヴィータ・ネクサスタワー」 デモ版を公開

薬局・認知症カフェがデジタル参加の入口となる、常時つながれる支援の居場所を実装。
初期参画パートナーの先行募集を開始。

発表日 2026年4月15日 発表者 一般社団法人かかりつけ支援センター

一般社団法人かかりつけ支援センター（所在地：大阪府枚方市、代表理事：岡本直子）は、2D メタバース型 認知症ケア&サポート・プラットフォーム「ヴィータ・ネクサスタワー」のデモ版を2026年4月6日より日本国内で公開しております。

本プラットフォームは、従来は別々に提供されてきた相談・交流・学び・予防プログラムを、オンライン上でひとつの導線としてつなぐものです。認知症の当事者・家族はもとより、薬局、認知症カフェ、地域包括支援センター、医療・介護専門職、プログラム提供事業者・研究機関など、多様な関係者が参加できる設計となっており、本格稼働に向けた初期参画パートナーの先行募集を同時に開始しております。



■ 開発の背景

認知症の当事者や家族は、相談先が分かりにくい、情報が届かない、社会参加の機会が少ない、遠距離介護・不安を抱えやすいといった複合的な困難に直面しています。認知症カフェや地域活動は各地に存在するものの、参加の継続や支援への橋渡しには地域差があります。また、遠隔地や過疎地域に住む方、仕事や介護で時間的に制約がある方にとって、支援へのアクセスはさらに困難です。オンライン支援の普及においても、機器の操作不安というデジタル・ディバイドの壁があります。

ヴィータ・ネクスタワーは、オンラインを単なる配信手段ではなく、必要なときに立ち寄れ、継続して関わり続けられる居場所として設計したプラットフォームです。

■ 既存サービスとの違い

本プラットフォームは、既存の相談・交流・医療・予防プログラムを置き換えるものではありません。これまで別々に提供されてきた支援を、ひとつの流れの中で利用しやすくすることが最大の特徴です。

相談をきっかけに交流の場・学びの機会・予防プログラム・イベントへと自然につながり、必要な支援をその都度探し直さなくて済む形を目指しています。



■ プラットフォームの主な特長

特徴1 常時稼働型のオンライン空間

- 時間固定のビデオ会議とは異なり、必要なときに立ち寄れます。情報収集、雑談、相談、講座参加、予防プログラムへの参加を一つの場で行えます。

特徴2 薬局・認知症カフェがデジタル参加の入口に

- 地域のリアル拠点を「デジタル・リテラシー・ハブ」と位置づけ、不安のある高齢者や家族が身近な場所で支援を受けながら参加できる設計です。過度な人員・専門教育に頼らず運営でき、地域の啓発・ブランディングにも活用しやすい仕組みです。

特徴3 予防から家族支援まで分断しないフロア設計

- テーマ別フロアにより、必要なタイミングで適切な支援にアクセスできる構造を実現します。

特徴4 続けられる設計を重視

- 運動・栄養・認知トレーニング・社会交流などを組み合わせた多因子介入を、予定が把握しやすい設計と伴走支援により、継続しやすい形で実装します。

<フロア構成>

フロア	内容
1F	総合エントランス・受付・案内・雑談スペース
2F	家族・介護者向け支援フロア
3F	当事者向け支援フロア
4F	認知症予防・MCI フロア
5F	イベントホール（講演・実践共有・企業連動セミナー）
6F 以上	若年性認知症フロア、非薬物療法フロア、クリニックモール等（順次拡張予定）

■ 先行募集：初期参画パートナーについて

a) 薬局

地域で最初に認知症の不安を相談される場として、薬局はオンライン支援への入口となる重要な拠点です。ウィータ・ネクサスタワーへの参画により、相談対応の幅を広げるとともに、「認知症支援に取り組む薬局」としての地域ブランディングに直接つなげることができます。

b) 認知症カフェ運営者

認知症カフェの活動をオンラインへ拡張することで、通えない方や遠方の方にも継続的な参加・相談の場を届けることができます。地域を超えて同じ境遇の参加者同士がつながり、情報交換できる場としてもご活用いただけます。また、多様な関係者との協働により、プログラムの幅を広げ、内容の充実につなげることも可能です。

c) 栄養・運動・認知トレーニング等のプログラム提供者／研究機関／介護・医療関係者

認知症予防・MCI 支援をテーマとしたプログラムの提供・告知・参加者募集の場として、本プラットフォームをご活用いただけます。ウェビナーの開催や継続的な情報発信を通じて、専門的な知見を必要とする当事者・家族へ直接リーチできる環境を提供します。研究・実証の場としての連携も歓迎します。

d) 地域包括支援センター

地域の相談支援機能とオンライン支援プラットフォームを連携させることで、相談対応の負担を分散し、より多くの個別相談に対応しやすい環境づくりにつなげます。地域の窓口として相談を受け止めつつ、具体的な支援はプラットフォーム内の各種サービスへつなぐことで、個別対応を補完するツールとしてご活用いただけます。

■ 今後の展開

このたび国内での先行パートナー募集・連携協議を開始しました。今後は各パートナーとの連携を通じて、多様な認知症支援アプローチを順次実装するとともに、一次予防・二次予防・三次予防を含む認知症支援プラットフォームとしての機能充実を図ってまいります。6階以上のフロアについても、企業や行政による独自フロアをはじめ、多様なプログラムやエンターテインメント、オンライン医療、非薬物療法などを段階的に拡張していく構想です。

さらに、AI の進化を踏まえた各種デジタル機能との連携に加え、将来的にはスマートグラスを通じた VR/AR 空間との接続も視野に入れ、現実とデジタルがより自然につながる環境の整備を進めてまいります。

■ サービス概要

項目	内容
名称	ヴィータ・ネクサスタワー
内容	2D メタバース型 認知症ケア & サポート・プラットフォーム
運営	一般社団法人かかりつけ支援センター
公開状況	デモ版公開中（2026 年 4 月 6 日～）
主な対象	認知症当事者・家族、MCI・予防関心層、薬局、認知症カフェ、地域支援団体、医療・介護関係者、プログラム提供事業者・研究機関等
Web サイト	https://med-psc.com/

■ 一般社団法人かかりつけ支援センターについて

認知症と共に生きる地域・職場づくりをテーマに、認知症カフェ運営、講演・研修、企業向け支援、地域連携、薬局ブランディング支援、デジタル活用による認知症支援の仕組みづくりに取り組んでいます。ヴィータ・ネクサスタワーは、リアルとデジタルをつなぎながら、認知症の予防から当事者・家族支援までを継続可能な形で支えることを目指す事業です。

■ 本件に関するお問い合わせ

一般社団法人かかりつけ支援センター

〒573-0086 大阪府枚方市香里園町 9-18 植田ビル 4F

TEL : 072-200-2908 / Email : info@med-psc.com / Web : <https://med-psc.com/>